

<領域：こころとからだのしくみ>

発達と老化の理解

問題 69 ハヴィガースト(Havighurst, R.)の示した児童期(中期児童期)の発達課

題に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 排泄はいせつのコントロールを習得する。
- 2 読み書き計算などの基礎的技能を習得する。
- 3 両親や他の大人たちから情緒面で自立する。
- 4 善悪の区別を習得する。
- 5 社会的に責任のある行動をとる。

問題 70 Aさん(81歳、女性)は、3か月前に夫を亡くした。「最近、夜眠れない」

と訴えるようになった。意識はしっかりしているが、ベッドで横になっていることが多くなっている。

Aさんが現在の状況になったきっかけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 せん妄
- 2 妄想
- 3 感情失禁
- 4 喪失体験
- 5 老性自覚

問題 71 Bさん(82歳, 男性)は, 大企業の営業部長を務めていたが, 退職した後も会社のことをいつも気にしている。足が少し不自由なので長男が同居を勧めているが, 世話になりたくないと拒否している。Bさんは, 自分の庭で野菜を作っている。地域との交流はほとんどない。

ライチャード(Reichard, S.)の老年期における人格の5類型のうち, Bさんに相当するものとして, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 円熟型
- 2 あんらくいす安楽椅子(ロッキングチェア)型
- 3 装甲(自己防衛)型
- 4 憤慨(外罰)型
- 5 自責(内罰)型

問題 72 流動性知能に関する次の記述のうち, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 新しい場面に適応するときに要求される問題解決能力である。
- 2 学校教育などの環境条件の影響を受けやすい。
- 3 生活習慣や訓練によって維持することが可能である。
- 4 60歳代が最も高く, 80歳代以降に低下する。
- 5 過去の人生経験の蓄積によって形成される。

問題 73 老化に伴う視覚の変化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 近方視力よりも遠方視力が低下する。
- 2 視野が広がる。
- 3 青色系に比べ赤色系の識別が困難になる。
- 4 明暗順応は変化しない。
- 5 識別に必要な照度が高くなる。

問題 74 高齢者の排尿障害に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 男性では尿路の通過障害が少ない。
- 2 女性では腹圧性尿失禁が多い。
- 3 切迫性尿失禁が少ない。
- 4 膀胱炎(cystitis)は、ぼうこうえん悪寒戦慄おかんせんりつを伴う。
- 5 前立腺がんぜんりつせん(prostate cancer)によるものは、減少している。

問題 75 老化に伴う循環器系の変化として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脈拍数が増加する。
- 2 動脈が軟化する。
- 3 心臓が縮小する。
- 4 不整脈が増加する。
- 5 収縮期血圧が低下する。

問題 76 日本高血圧学会のガイドラインで、それ以上が高血圧(I度)とされる収縮期血圧値/拡張期血圧値(mmHg)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 120 / 70
- 2 130 / 80
- 3 140 / 90
- 4 150 / 100
- 5 160 / 110

認知症の理解

問題 77 認知症(dementia)の人に対する地域密着型サービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護療養型医療施設
- 2 認知症老人徘徊感知機器にんちしょうろうじんはいかいかんちききの貸与
- 3 居宅介護住宅改修
- 4 認知症対応型通所介護
- 5 介護予防訪問介護

問題 78 小規模多機能型居宅介護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 住み慣れた地域で住み続けることに役立つ。
- 2 ケアマネジメント(care management)は外部機関に委託する。
- 3 1事業所の登録定員は29人以下である。
- 4 本体事業所への看護師・准看護師の配置は義務づけられていない。
- 5 「泊まり」を基本にサービスを展開する。

問題 79 認知症(dementia)の中核症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 判断力が低下する。
- 2 不安な状態が続く。
- 3 抑うつ状態が続く。
- 4 介護者に暴力をふるう。
- 5 忘れたことを自覚している。

問題 80 せん妄(delirium)に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 睡眠と覚醒かくせいのリズムは正常である。
- 2 意識レベルは清明である。
- 3 せん妄中の出来事を覚えている。
- 4 薬剤によって生じることがある。
- 5 症状の変動は少ない。

問題 81 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)の症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 具体的な幻視が現れる。
- 2 もの盗られ妄想が現れる。
- 3 常同行動が現れる。
- 4 万引きなど反社会的な行動が現れる。
- 5 シヤント手術によって改善が期待できる。

問題 82 血管性認知症(vascular dementia)と比べたとき、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)により多くみられる特徴として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 発症は女性に多い。
- 2 上肢や下肢に麻痺まひがある。
- 3 症状は階段状に悪化する。
- 4 感情失禁がある。
- 5 多発性脳梗塞たはつせいのうこうそく(multiple cerebral infarction)がある。

問題 83 適切な治療をすれば、認知症(dementia)の症状が大きく改善する可能性がある疾患として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)
- 2 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)
- 3 血管性認知症(vascular dementia)
- 4 クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease)
- 5 慢性硬膜下血腫まんせいこうまくかけっしゅ(chronic subdural hematoma)

問題 84 認知症(dementia)の行動・心理症状(BPSD)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 実行機能障害
- 2 失語
- 3 記憶障害
- 4 失認
- 5 徘徊はいかい

問題 85 高齢の認知症(dementia)の人への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 使い慣れた道具を、新しい便利なものに変える。
- 2 部屋の家具の配置を、飽きないように毎月変える。
- 3 部屋やトイレに、表示や目印をつける。
- 4 部屋の照明は、できるだけ明るくする。
- 5 食事の雰囲気よりも、栄養の摂取を優先する。

問題 86 Cさん(75歳、男性)は、認知症(dementia)の妻を自宅で介護している。

Cさんは、いつも明るく介護方法の勉強にも熱心である。最近、妻は排泄はいせつの失敗が増え、下着の交換や陰部清拭がたびたび必要になってきた。通所介護(デイサービス)職員との会話で、Cさんは、「妻に対して腹立たしく思う自分が情けない。妻にすまないと思う」と、初めて気持ちを語った。

Cさんに最初に行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護方法について指導する。
- 2 何事も気にしないように励ます。
- 3 新しい介護用品を紹介する。
- 4 介護を代行するサービスを提案する。
- 5 気持ちの訴えを受容する。

障害の理解

問題 87 ^{かたまひ}片麻痺のある人のICF(International Classification of Functioning, Disability and Health：国際生活機能分類)における「活動制限」として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 復職できない。
- 2 手足が動かない。
- 3 言葉が理解できない。
- 4 旅行に行けない。
- 5 トイレに行けない。

問題 88 2002年(平成14年)の「障害者基本計画」の基本理念で、ノーマライゼーション(normalization)とともに位置づけられているものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 インクルージョン(inclusion)
- 2 メインストリーミング(mainstreaming)
- 3 リハビリテーション
- 4 インテグレーション(integration)
- 5 バリアフリー

問題 89 ^{かたまひ}片麻痺のある人が自走用標準型車いすを自分で操作しやすくする方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 背もたれの高さを肩の高さと同じにする。
- 2 健側のブレーキレバーを延長する。
- 3 ^{ひじあ}肘当ての高さを介助用グリップの高さと同じにする。
- 4 ^{ひじあ}肘当てをデスクタイプにする。
- 5 健側足底部が床に着くように、座面の高さを設定する。

問題 90 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の1つである遂行機能障害として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 物の置き場所や約束を忘れる。
- 2 集中力がない。
- 3 ちょっとしたことですぐ興奮して怒鳴る。
- 4 決まった方法にこだわり、状況に応じた判断ができない。
- 5 同時に2つ以上のことをすると混乱する。

問題 91 Dさん(42歳, 女性)は, 専業主婦で小学生の2人の子どもがいる。うつ病(depression)のため, 不眠と注意力の低下から家事や育児ができなくなり, 精神科病院に通院している。通院以外は自宅に閉じこもり, 横になっていることが多い。訪問した介護職に「子どもの世話ができない自分は母親失格」, 「何もできない無能な人間になってしまった」と繰り返し話す。

Dさんへの対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「ご家族のためにも, 早く元気になりましょうね」
- 2 「気分転換に, 旅行に行ったらどうですか」
- 3 「子どもさんの世話ができないのは, つらいですね」
- 4 「毎日, 洗濯や掃除を頑張りましょう」
- 5 「いつも同じことを言っているけど, 病気はよくなりませんよ」

問題 92 ダウン症候群(Down's syndrome)の原因として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 胎内感染
- 2 染色体異常
- 3 劣性遺伝
- 4 先天性代謝異常(inborn errors of metabolism)
- 5 核黄疸かくおうだん(kernicterus)

問題 93 こうはんせいはいったつしょうがい 広汎性発達障害 (pervasive developmental disorder) に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 幻覚、妄想が現れる。
- 2 変化に対する不安が強い。
- 3 その場の雰囲気や相手の意図を強く意識する。
- 4 まひせいこうおんしょうがい 麻痺性構音障害が現れる。
- 5 協調して作業することが得意である。

問題 94 障害受容の過程にみられる「抑圧」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認めたくない欲求、不安や苦痛を意識下にとどめる。
- 2 障害を認めず、元に戻ると信じている。
- 3 子どものように甘えたり、すぐに泣いたりする。
- 4 自分の立場を正当化し、失敗感や劣等感から逃れようとする。
- 5 周囲の手助けを拒否して、自分を強くみせようとする。

問題 95 相談支援専門員の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害に関する調査・診断・判定を行う。
- 2 就労に必要な知識や能力を高めるための訓練を行う。
- 3 サービス等利用計画を作成する。
- 4 個別支援計画を作成する。
- 5 外出時の移動中の介護を行う。

問題 96 Eさん(36歳, 男性)は, 脳性麻痺(cerebral palsy)がある。母親(60歳)と二人暮らしである。Eさんは, 四肢麻痺のため体位変換に介護が必要で, 居宅介護を利用している。最近, 母親は腰痛を訴えている。

母親に対する介護職の支援として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「介護は負担ではない」と母親が言ったので, 見守る。
- 2 腰痛で悩んでいる母親に, コルセットを提供する。
- 3 母親の介護方法を尊重しながら, 腰の負担が軽くなる方法を提案する。
- 4 Eさんの生活を, ベッドから畳に変えるように指導する。
- 5 母親の負担を減らすため, Eさんと母親の2人分の食事を作る。

こころとからだのしくみ

問題 97 Fさん(82歳, 女性)は, 娘夫婦や孫と暮らしていた。もともと穏やかな性格であったが, 1年前に夫を亡くしてからは, ふさぎ込むことが多くなった。半年前に自宅で転倒して大腿骨を骨折した。それ以来, 自立歩行ができなくなり, 介護老人福祉施設に入所した。その後, 周囲の人に「死にたい」と, もらすようになった。

Fさんの精神状態として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 不安神経症(anxiety neurosis)
- 2 ストレス反応(stress reaction)
- 3 認知症(dementia)
- 4 恐怖症(phobia)
- 5 抑うつ状態(depressive state)

問題 98 若いときに習得した技術や技能の記憶は, 高齢になっても長く保存されていることが多い。この記憶として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手続き記憶
- 2 意味記憶
- 3 エピソード記憶
- 4 短期記憶
- 5 感覚記憶

問題 99 関節の運動と筋の収縮に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 しつかんせつ 膝関節の伸展は、だいたいにとうきん 大腿二頭筋の収縮によって起こる。
- 2 こかんせつ 股関節の伸展は、だいたいしとうきん 大腿四頭筋の収縮によって起こる。
- 3 足関節の背屈は、かたいさんとうきん 下腿三頭筋の収縮によって起こる。
- 4 手関節の背屈は、上腕二頭筋の収縮によって起こる。
- 5 ちゅうかんせつ 肘関節の伸展は、上腕三頭筋の収縮によって起こる。

問題 100 動脈血が流れている部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 右心室
- 2 右心房
- 3 さんせんべん 三尖弁
- 4 肺動脈
- 5 左心房

問題 101 次の骨折(fracture)のうち、高齢者の転倒による骨折(fracture)として、最も少ないものを1つ選びなさい。

- 1 上腕骨近位端骨折(fracture of upper end of humerus)
- 2 とうこつえんいたんこっせつ 橈骨遠位端骨折(fracture of lower end of radius)
- 3 せきついあっぱくこっせつ 脊椎圧迫骨折(compression fracture of spine)
- 4 だいたいこつけいぶこっせつ 大腿骨頸部骨折(femoral neck fracture)
- 5 骨盤骨折(pelvic fracture)

問題 102 胃ろうとその造設に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 開腹手術が必要である。
- 2 終生使用しなければならない。
- 3 ボタン型は自己抜去しにくい。
- 4 バルーン型は壊れにくい。
- 5 口からの食物摂取はできなくなる。

問題 103 次の疾患のうち、栄養管理が^{ひつす}必須であるものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)
- 2 関節リウマチ(rheumatoid arthritis)
- 3 慢性胃炎(chronic gastritis)
- 4 慢性腎不全(chronic renal failure)
まんせいじんふぜん
- 5 うつ病(depression)

問題 104 次の皮膚疾患のうち、真菌(カビ)が原因で起こるものを1つ選びなさい。

- 1 疥癬(scabies)
かいせん
- 2 帯状疱疹(herpes zoster)
たいじょうほうしん
- 3 膿痂疹(impetigo)
のうかしん
- 4 白癬(tinea)
はくせん
- 5 老人性掻痒症(pruritus senilis)
ろうじんせいそうようしょう

問題 105 Gさんは、^{のうこうそく}脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左上下肢に^{まひ}麻痺があり、車いすで生活している。訪問介護員(ホームヘルパー)がGさんの入浴の介護のために訪問したところ、仙骨部の皮膚が赤くなっていることに気付いた。皮膚にびらんは認められない。痛みも特に感じないという。

Gさんの入浴の介護の注意点として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 入浴は中止する。
- 2 入浴時間を短縮する。
- 3 入浴は行い、変色した部分をこすらず洗い流す。
- 4 入浴は行い、変色した部分をマッサージする。
- 5 入浴は行い、変色した部分に^は湿布を貼る。

問題 106 便秘の原因となるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 スポーツドリンク
- 2 経管栄養剤
- 3 レモンジュース
- 4 麻薬性鎮痛剤
- 5 インスリン製剤

問題 107 「急に強い尿意を感じて我慢できなくなる」という症状の原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 尿を出す機能の障害
- 2 尿をためる機能の障害
- 3 腹部の筋収縮の低下
- 4 下肢の筋力の低下
- 5 腎臓^{じんぞう}の機能の障害

問題 108 不眠の原因となるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 イソフラボン(isoflavone)
- 2 カフェイン(caffeine)
- 3 カルシウム(Ca)
- 4 ビタミンA(vitamin A)
- 5 メラトニン(melatonin)

<総合問題>

総合問題

(総合問題 1)

次の事例を読んで、問題 109 から問題 111 までについて答えなさい。

[事例]

Hさん(80歳、男性)は、娘には老後の心配をかけたくないと考えて、2年前に夫婦で軽費老人ホームに入所した。物静かな性格で賑やかな場所^には苦手である。身の回りのことは自分でできる。10年前に糖尿病(diabetes mellitus)にかかり、毎日、朝食前に自分でインスリン注射をしている。半年前、妻が突然亡くなった。妻がいるころは、妻と一緒に散歩をしたり、妻が食事にも気を配ってくれていた^{ので}血糖値は安定していた。妻の死後は自己注射を介護職が見守っている。

問題 109 Hさんは介護職に、「妻が亡くなった直後は、いろいろと忙しくて寂しいとは思わなかったが、半年たった今ごろになってとても寂しくなり、自然に涙が出たりする」と言った。

Hさんに対して介護職が行うグリーフケア(grief care)として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Hさんと相談して、思い出話ができる人たちに集まってもらう。
- 2 悲しみは時間とともに消失するので、そっとしておく。
- 3 悲しみは糖尿病(diabetes mellitus)には影響しないので、そのままにしておく。
- 4 少しでも早く立ち直ってもらうために、娘の家に行くことを勧める。
- 5 元気を出してもらうために、カラオケ大会を開く。

問題 110 さらに2か月後の定期受診のときに、医師はHさんに「血糖値が高くなってきているので注意してください」と指導し、同行した介護職には「合併症に気をつけて観察してください」と言った。

Hさんの日常生活の中で、合併症の早期発見のために、介護職が観察すべき視点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小刻み歩行の有無
- 2 視力の低下の有無
- 3 不眠の有無
- 4 嗅覚の低下の有無
- 5 聴力の低下の有無

問題 111 受診後Hさんは、「できるだけ自分で健康管理をして、ここで生活していきたいので協力してほしい」と介護職に話した。

介護職が行った支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 運動をしていたので励ました。
- 2 部屋の掃除を頼まれたが断った。
- 3 仲の良い利用者と間食をしていたので、その場で注意した。
- 4 インスリン注射の見守りを中止した。
- 5 妻のことは何も話さないようにした。

(総合問題 2)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

[事 例]

Jさん(84歳、男性)は、20年前に脳梗塞(cerebral infarction)を発症し、後遺症で軽度の左片麻痺となった。屋内では、T字杖を使用すれば歩行できるが、転倒するのが心配で、ほとんど外出しなかった。

1年ほど前から、夜よく眠れない、通院する曜日を間違える、薬を飲み忘れるなどの状態になり、血管性認知症(vascular dementia)と診断された。

半年前から夜間の不穏状態や妻への暴力行為がたびたび出現するようになり、妻が介護しきれなくなって、Jさんは介護老人福祉施設に入所することになった。

入所後も施設内はT字杖を使用して、歩行は可能であった。しかし、慣れない場所で、より不安が強くなっているようすであった。

問題 112 Jさんは入所後、トイレと食堂へ行くとき以外は居室から出てくることが少なくなり、周りの利用者と話すこともなくなってきた。その後、食堂へも行かなくなり、ベッドで食事をするようになった。

介護職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 身の回りのことは1人で行うように励ます。
- 2 居室を出るように、何度も促す。
- 3 今の生活についての思いを聴く。
- 4 寝食分離について理解できるように、説明する。
- 5 Jさんの希望どおりにする。

問題 113 Jさんは妻との面会には穏やかに接する日と、暴力的な行動をとる日がある。

このようなJさんの症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の人に共通してみられる。
- 2 この症状を中核症状とよんでいる。
- 3 本人の身体的な要因や、周囲の状況が影響を与える。
- 4 この症状は認知症(dementia)が進行しても変化しない。
- 5 認知症(dementia)の初期症状に起こりやすい。

問題 114 Jさんは入所後2か月を過ぎても周囲とのかかわりはほとんどないが、「若いころは空手の指導者もしていた」と明るい表情で介護職に自慢することがある。

現在の生活を改善するための介護職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ポータブルトイレの利用を勧める。
- 2 部屋替えを行う。
- 3 ベッドの配置を変える。
- 4 施設での集団プログラムへの参加を促す。
- 5 特技を活かしたレクリエーションを企画する。

(総合問題 3)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

〔事例〕

Kさん(43歳、女性)は、8年前に関節リウマチ(rheumatoid arthritis)を発症した。現在は、治療の効果で症状の進行がおさえられている。公的な制度を使うことができるように、必要な認定を受けている。Kさんは夫と2人で暮らしており、夫は朝早くKさんの朝食を作り、仕事に出かける。

Kさんは肩関節ちゅうかんせつや肘関節こかんせつ、股関節こうちせいの可動域が狭く、左手指の巧緻性も低下している。お昼ごろからは、室内を自分の力で歩き、リーチャーや道具を工夫して家事を行うこともできる。しかし、からだの動きにくい午前中は、公的な制度を利用し、介護職に自室の掃除を依頼している。

問題 115 Kさんが訪問系サービスを依頼するとき、優先的に使用するサービスを規定している制度として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者自立支援法
- 2 介護保険法
- 3 難病対策要綱
- 4 障害者基本法
- 5 生活保護法

問題 116 Kさんは、^{こかんせつ}股関節の屈曲制限があるので、便座を高くし、トイレ動作が自立できるように工夫する必要がある。

トイレットペーパーを右斜め前方に設置する場合、Kさんが便座に座った状態で、どの位置の高さにしたらよいか、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ^{だいたいこつこつとう}大腿骨骨頭
- 2 上腕骨中間部
- 3 ^{けいこつちゅうかんぶ}脛骨中間部
- 4 鎖骨
- 5 ^{ひこつちゅうかんぶ}腓骨中間部

問題 117 Kさんは右利きであり、食べ物を口まで運ぶことが難しくなっている。

Kさんが自立した食事を継続するために必要なスプーンの工夫として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 重量を軽くする。
- 2 柄を短くする。
- 3 握りを太くする。
- 4 スプーンを大きくする。
- 5 すくう部分を左に曲げる。

(総合問題 4)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

〔事 例〕

L 君(12 歳, 男性)は, 6 歳のとき, アスペルガー症候群(Asperger's syndrome)と診断された。てんかん(epilepsy)を合併しており, 1 か月に 1 回程度, 身体の脱力発作が起こることがある。

現在は, アスペルガー症候群(Asperger's syndrome)を理由に療育手帳を取得して, 特別支援学校(小学部 6 年)に通学している。靴に強いこだわりがあり, 靴が替わっていたり, 玄関に置いてある位置がいつもと違ったりすると次の行動ができずに, スクールバスに乗り遅れてしまうことがある。

学校では, 興味のあることはよく友達と話をするが, 話が終わらないこともあり, 悪気はないのに失礼な発言をすることがある。教室の中が騒がしかったり, 大きな音がすると耳を手でふさいでしまう。また, 運動が大好きで, 特に泳ぐことには積極的である。家では決まった場所で食事をして, 決まった時間に決まったテレビを見て過ごしている。しかし, そのパターンが崩れると落ち着きがなくなる。

問題 118 L 君の障害特性に関する次の記述のうち, 最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 言葉の遅れがみられる。
- 2 計算するのが苦手である。
- 3 自分のことばかり話す。
- 4 動き回る。
- 5 何度言っても忘れ物をする。

問題 119 L君は自宅からスクールバスの乗り場まで介護職の送迎の支援を受けている。

L君に対する介護職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 一度に多くのことを指示する。
- 2 毎日靴を替える。
- 3 大きな声で話しかける。
- 4 途中でもL君の話を終わらせる。
- 5 L君と一緒に予定を確認する。

問題 120 L君が地域のプールに行く場合、障害者自立支援法に基づくサービスで活用できるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 自立訓練
- 2 同行援護
- 3 重度障害者等包括支援
- 4 行動援護
- 5 コミュニケーション支援